

## 女性研究者研究活動支援事業（拠点型）

（実施期間：平成 25～27 年度）

実施機関：静岡大学（総括責任者：伊東 幸宏）

## プロジェクトの概要

## (1) 体制及び活動内容

学長のリーダーシップの下、男女共同参画推進室に専任職員を採用し、学内外の協力を得て、  
1) 意識改革と啓発、2) WLBの推進、3) 研究能力の向上と裾野の拡大、4) 女性研究者の登用、5) 推進手法と体制を柱として、取組を進める。

## (2) 普及対象となる機関

行政機関：・静岡県

大 学：・浜松医科大学 ・静岡県立大学 ・静岡理工科大学 ・静岡英和学院大学

公的研究機関：・国立遺伝学研究所

民間企業：・浜松ホトニクス株式会社 ・株式会社鈴与総合研究所 ・第一工業株式会社  
・株式会社 J-オイルミルズ生化学研究所 ・株式会社アイエイアイ  
・住友化学園芸株式会社製品開発センター

## (1) 評価結果

総合評価	目標達成度	取組	取組の成果	実施体制	実施期間終了後の取組の継続性・発展性
A	a	a	a	a	a

総合評価：A（所期の計画と同等の取組が行われている）

## (2) 評価コメント

実施機関が中心となり、静岡県内の教育・研究機関、自治体、企業が連携する女性研究者ネットワークを構築した。さらに実施機関で構築したワーク・ライフ・バランスを実現するためのオンデマンド支援システムを効率的に連携機関へ普及させるとともに、研究代表者としてのリーダーシップを育む女性研究者による共同研究を積極的に推進したことは、評価できる。一方、各連携機関が女性研究者在籍比率や管理職比率等に係る数値目標を設定するという所期の目標を掲げたものの、全ての連携機関が数値目標を設定するには至っておらず、また、連携機関における数値目標の達成度も明確にされていない。今後は、連携機関に対する実施機関のガバナンスを強化し、取組の波及効果を明らかにすることを期待する。

- ・**目標達成度**：連携機関との連携や取組の普及に関する目標を概ね達成し、実施機関で構築したオンデマンド支援システムという優れたシステムを連携機関へ効率的に普及させたことは評価できる。今後は、連携機関すべてが女性研究者比率等に係る数値目標を設定し、その達成度を十分に検証することを期待する。
- ・**取組**：研究支援員の連携機関への配置、連携機関の研究者を対象とした出前研修や、定例交流会における情報交換の実施、メンター制度の紹介、共同研究の推進等、連携機関への取組の普

及が積極的に行われたことは評価できる。

- **取組の成果**：実施機関において女性テニユア教員が大幅に増加したこと、連携機関への取組の普及により保育制度の運用が進んだこと、また、連携機関の半数で女性研究者の在籍者数が増加したことは、評価できる。また、共同研究のラブコールイベントを中心に女性研究者間のネットワーク形成や異分野交流が促進され、10件の共同研究が開始されたことも評価できる。今後は、共同研究の推進が女性研究者の研究力向上の成果に繋がることを期待する。
- **実施体制**：学長を総括責任者とし、学長直下に取組の企画や実施、連携機関との連絡調整を中核となっていく、副学長を室長とする「男女共同参画推進室」を設置し、磐石な実施体制を確立したことは、評価できる。今後は、連携機関における実施体制の更なる整備を期待する。
- **実施期間終了後の取組の継続性・発展性**：実施機関における平成28年度からの中期計画に女性教員比率、女性役員数、管理職比率に係る数値目標を定め、実施期間終了後も十分な自主財源を確保しており、今後の取組の継続性の担保や発展性が認められる。また、実施機関と連携8機関により、「男女共同参画推進のための共同宣言」を発表し、引き続き、定例交流会を開催し、連携して女性研究者の活躍促進を図っており、連携した取組の継続や発展も期待できる。